

第150回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【平成25年9月10日(水)開催 会場:(株)PALTEK 11階セミナールーム】

1. 株式会社ナスカ 代表者 宇野 正章 氏 (<http://www.nastec.jp/index.html>)

【住所】島根県出雲市西郷町371番地

【設立】1974年4月 【資本金】65,000千円

【事業概要】製造現場向けの支援システムの構築を主に進めて参りました。キーワードは、「現場の見える化」、「技能伝承」、「現場改善」になります。今期は、「無線式モニタリングシステム」の開発に重点を置いて商品化に向け検証を進めております。このモニタリングシステムは、従来の開発済の商品群を補完できる機能となっております。今後の展開については、医療・介護等の現場においても活用して頂ける商品開発を目指しております。大学の医学部の指導を受けながら現場で必要とされる事象を確認して開発を進める予定です。既存の商品においては30%以上を海外進出企業に導入済で海外市場も視野に入れた商品展開の構築を目指します。

【コメント】当社の「DPA Navi」(動画による見える化ツール)は戸惑っている作業工程(ボトルネック)等を顕在化するツールです。具体的な例として自動車部品を扱っているサプライヤーさんの工場内の作業映像を拝見させて頂きました。「どこが無駄な作業になっているのか」、「どこを改善したら効率化出来るのか」を一目で確認することが出来ました。またこの作業映像はワンクリックでパワーポイントやエクセルに自動貼り付けが出来るので、作業手順書の作成や作業の見直し改善のための便利なツールではないかと思いました。

2. イーメックス株式会社 代表者 瀬和 信吾 氏 (<http://www.eamex.co.jp/>)

【住所】兵庫県神戸市中央区港島南町5-5-2 神戸国際ビジネスセンター

【設立】2001年8月 【資本金】130,000千円

【事業概要】弊社は高分子アクチュエータ(AC)と電池電極の研究開発を行っています。高分子 AC は電動モータに換わる次世代の駆動原として研究開発が進められており、技術のブレークスルーが達成され、現時点では目標とする基本性能が実現しています。今後は製品開発として介護ロボット、パワースーツへの応用を目指します。現在、最も力を入れて製品化を行っている開発は、次世代電池としての正極です。導電性高分子(ポリアニリン)を電解重合により、連続製造のロールツーロールの1工程で作ります。この製造方法により、1/10の低コストで正極が製造されます。またポリアニリン正極で作製した電池の性能は3分急速充電、大電流放電、1万回寿命が可能で、エネルギー密度はリチウムイオン電池(LIB)の半分程度です。キャパシタと電池の良い性能を併せ持つ、今までになかった蓄電デバイスです。電気自動車、電動スクーター、電動工具、スマートフォン、太陽光発電の蓄電などの分野でLIBより優れた性能を発揮します。現在、正極の連続製造装置を作製中で10月完成予定です。また電池の製品化として電池製造会社数社と協議中です。

【コメント】そもそも当社は15年以上前にNEDOプロジェクトにおける高分子アクチュエータの研究開発をきっかけとして、導電性高分子膜を使ったアクチュエータの開発を手掛ける中でその膜が電極材料に使えることが分かり、長年にわたって「キャパシタ電池」の研究開発を重ねてきたそうです。この電池は通常より寿命が20~30年長いので、上記の分野以外に防災用しても活用が考えられるのではないかと思います。

3. 株式会社CICS 代表者 今堀 良夫 氏 (<http://www.cics.jp/>)

【住所】東京都江東区有明三丁目5番7号 TOC有明イーストタワー5階

【設立】2005年12月 【資本金】429,950千円

【事業概要】癌の粒子線治療に関する医療機関等への技術指導及び治療支援業務。

陽電子放射断層撮影装置(PET)を組み合わせた粒子線治療(中性子捕捉療法)の医療機関等への技術指導及び治療支援業務。中性子補足療法とは、放射線治療法の一種で、人体に無害な中性子をがん細胞内にあらかじめ取り込ませた無害なターゲット物質(ホウ素化合物)と核反応をおこさせることで、がん細胞だけを死滅させる革新的な治療法です。独立行政法人国立がん研究センターと共同研究契約を締結、現在、加速器中性子捕捉療法(加速器BNCT)の実現に向け着手しています。BNCTは他の大型放射線治療器と比べて、イニシャルコストも小さく、照射数も少ないため医療機関にとっても生産性が高く、普及型に相応しい画期的治療器です。

【コメント】中性子捕捉療法(BNCT)とは、がん細胞が取り込むアミノ酸をホウ素化合物にして、そのホウ素に中性子をあてることでがん細胞を細胞単位で破壊するそうです。この装置により手術や抗がん剤に比べて、患者の身体的負担を軽減することが出来、また既存の放射線治療装置と比べて、容易かつ特異的にがん細胞だけを破壊出来る画期的ながん治療方法です。当社は中性子を加速器で発生させるので安価な装置となり、来年から臨床試験が始まるというので会場の注目を浴びていました。



《感想》今回、ご出席頂きました方々より、「発表企業の内容が濃くなりましたね」というお声をたくさん頂戴いたしました。また今回は発表企業及びご出席者の中には遠方からお越し頂いた方も数名いらっしゃって大変嬉しく思います。既に皆様もご存じの通り、2020年に東京でオリンピックが開催されることが決まり、日本が活気づいてきました。このMINERVAの中でも世界に通用する企業が続々と出てくることを期待しております。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第151回 MINERVA ビジネスプラン発表会

次回の開催は下記の日時を予定しております。

発表企業等の詳細は、後日、改めてご案内させていただきます。

■日時:平成25年10月8日(火)13:30~16:00

(発表後、交流会)

■会場:学校法人岩崎学園 新横浜1号館8階

(http://www.iwasaki.ac.jp/access_shinyoko.html)

横浜市港北区新横浜2-4-10

<アクセス>市営地下鉄新横浜駅より徒歩1分、

JR新横浜駅より徒歩3分

NPO法人ベンチャー支援機構 MINERVA

TEL:045-470-8668、FAX:045-470-8090

(株)TNPパートナーズ、(株)TNPオンザロード

TEL:045-470-8088、FAX:045-470-8090

井 汲